

## 第 1 回会議における意見を踏まえた論点整理

## 第 1 回会議での主な意見

## 新学部設置に当たっての課題

## 進学者のニーズとの整合性

○県内学生の多くが経済系学部への進学ニーズがあるにもかかわらず、県内に受け入れ先がない状況にある。

○県立大学の教育ニーズ調査からは、実践的語学教育と経済・データ分析に対する教育の充実が求められており、そうしたニーズに対応していく必要がある。

○経済的な面で地元の公立大学に行かざるを得ない学生もおり、地元で学べて良かったと思える教育内容の充実が望まれる。

## 経済界のニーズとの整合性

○語学力やITスキルを応用、活用する能力が求められている。県内には世界シェアの高い企業も多く、両方を求めるところもある。

○リベラルアーツに加え、自分で考え、行動し、常に分析しながら課題解決していく能力（クリティカルシンキング）が求められている。

○文系であっても、仕事の中で、様々なデータベースを活用して課題を解決していく必要があり、そのための情報処理能力の育成が求められている。

## 新学部設置による効果

○新潟県は、新しいものを作っていくとする全要素生産性（※）が近隣県と比べ伸びておらず、大きな課題であると考えている。新学部設置によって新たな「知」が加わることでイノベーションが期待できる。

○県内の国公立大学志願者の併願状況を見ると、多くの県内生の併願先になりうる。首都圏に出ていた学生も県内に留まる。

○東アジアとのネットワークづくりは、新潟から世界に発信できる大きなチャンスとなる。

※全要素生産性（Total Factor Productivity:TFP）  
資本と労働の増加によらない生産の増加を表すもの。具体的には、技術進歩、効率化などを表す。

## 論点 1

- 社会ニーズとの適合性と新学部設置による効果
  - ・進学者確保の見通しと教育環境の充実
  - ・県内企業の人材ニーズと新潟に必要な人材の育成・確保
  - ・若者の県内定着の促進
  - ・地域貢献機能の充実 等

## 論点 2

- 新学部設置による影響
  - ・県内私立大学への影響
  - ・県内経済系大学とのすみ分けは可能か

## 総括

- 新学部設置の意義・必要性はあるか